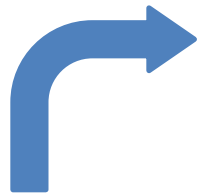


地方のポテンシャルを引き出すテレワークやWi-Fi等の活用に関する研究会
【Wi-Fi整備推進ワーキンググループ】

《Wi-Fi自動販売機》に於ける整備推進の取組について

平成27年1月28日

自動販売機オペレーターの業務サイクル



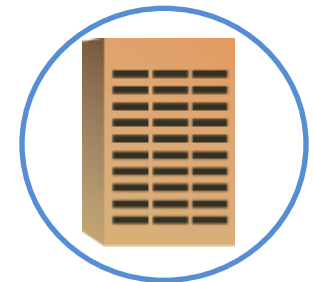
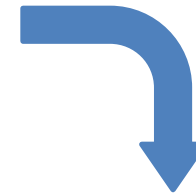
1



いつも
見えています

定期訪問

定期的に訪問し、
在庫のチェックや
商品補充を行います。



4

しっかり
管理します

売上金の精算

定期訪問時に売上金の
回収も行います。



2

きっちり
確実にいきます

売上金回収 / 釣り銭補充

売上金の回収や
釣り銭切れを防ぐ
ため補充をします。

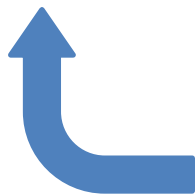
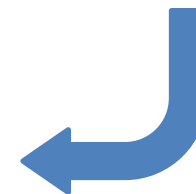


3

売り切れは
出しません

商品の詰め替え

商品コラムを季節に
応じて切り替え。
売れ筋商品を揃えます。



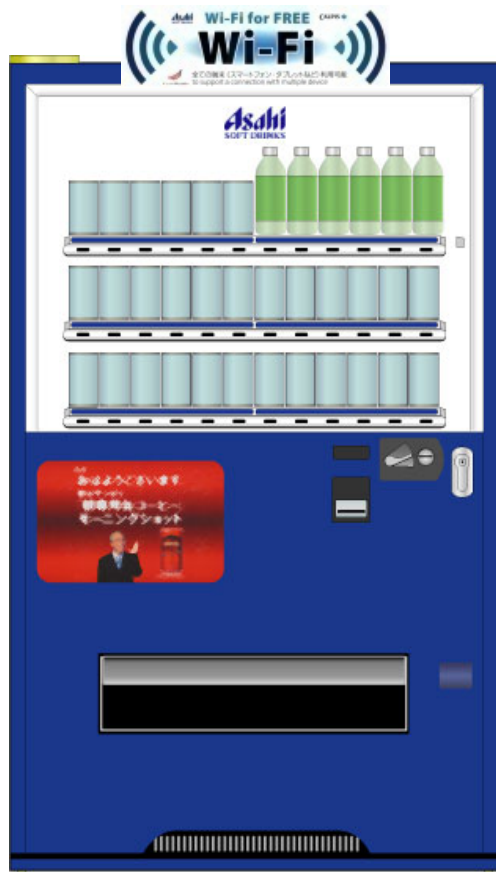
自動販売機オペレーター 約250社
自動販売機(清涼飲料水) 約260万台



課題

- ・付加価値サービス
- ・社会貢献

2004年よりWIFI自動販売機開発スタート



FreeMobile
フリーモバイル

全国600箇所にWi-Fi自販機を展開

2011年よりアサヒ飲料株式会社と
Wi-Fiサービスの提携



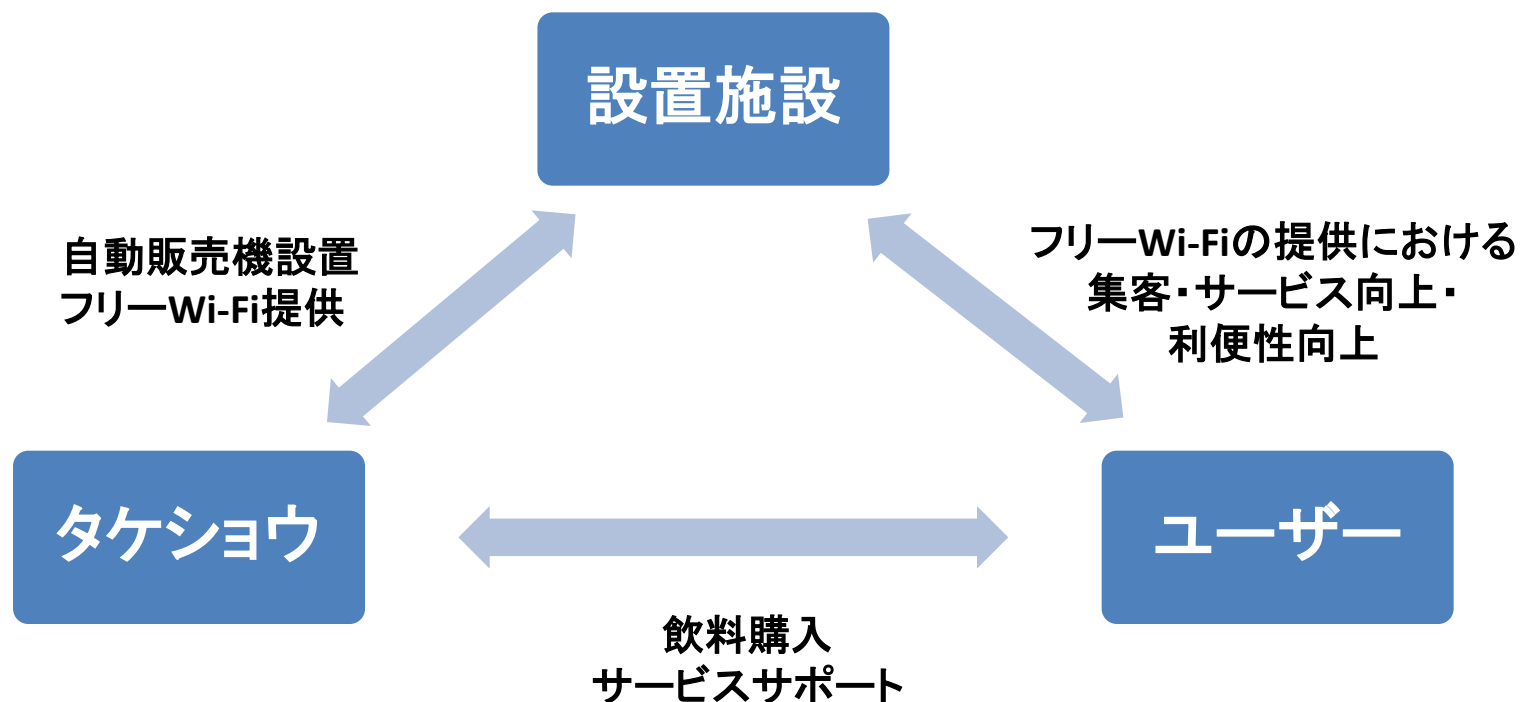
2015年中に1000箇所にてサービス実施

【WIFI自動販売機ビジネスモデル】

自動販売機の設置 = フリーWi-Fi環境の無料提供



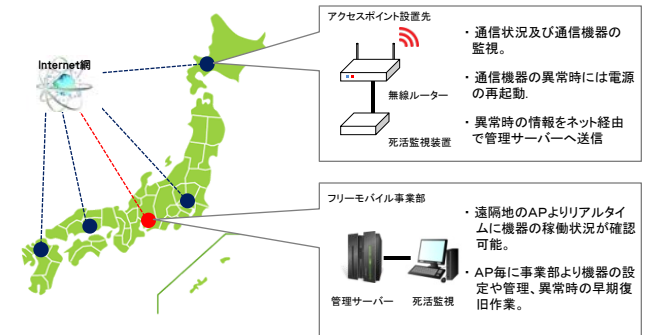
自動販売機の飲料収益よりフリーWi-Fi環境に
必要コストを賄う事業モデル



【Wi-Fi自動販売機に於けるサービスの特徴】

1. 「死活監視システム」による運用サービスの無料提供

全国全てのAPを管理サーバーにて一括管理。通信状況をリアルタイムで監視し未然に対応します。遠隔操作による設定の変更や機器のメンテナンスなども行うことで、設置先担当者は一切の手間が発生しません。



2. 「リダイレクト画面」のカスタマイズの無料提供

Wi-Fi接続時に表示するリダイレクト画面を利用して設置施設毎に自由にカスタマイズできる機能は無償で提供。リダイレクト画面は多言語対応し、言語別に表示内容を変えることも可能です。




3. 「ログデータのレポート機能」による効果検証環境の無料提供

Wi-Fi利用者数の時間帯による変化・曜日による増減・言語別ページ毎にリンク先の使用率など、様々な角度からアクセスポイント毎に分析が可能です。



【Wi-Fi自動販売機の主な仕様】

- ①【SSID】
- ・FREEMOBILE(オープン接続)
 - ・FREEMOBILE_SECURE (WPA2-AES 接続) ※SSIDをカスタマイズ変更してサービス提供可能
- ②使用回線
- ・モバイル回線(3G・LTE)/光回線 等
- ③無線アクセスポイント
- ・オリジナルプログラムによる専用無線ルーター ※技術基準適合証明取得 00WWA110918 
- ④届出電気通信事業
- ・届出番号 C-23-01649
- ⑤特許・権利関係
- ・商用登録 「FREEMOBILE」
 - ・実用新案登録 「無線基地局付自動販売機」
 - ・特 許 「キャリング式無線ルーター」
 - ・特 許 「自動販売機システム」
 - ・特 許 「自販機」
 - ・特 許 「公衆無線LANシステム及び公衆無線LANシステム用のルーター装置」

【事例紹介】



道の駅Wi-Fiプロジェクト



「道の駅」木曾川源流の里 きそむら
(長野県) のリダイレクト画面

- 国土交通省中部地方整備局
- 中部ブロック「道の駅」連絡会
- タケショウ株式会社
- アサヒ飲料株式会社

連携及び協力にて中部エリア全129駅の
「道の駅」に導入を進めています

※2015年1月15日現在、46駅に導入済

【道の駅Wi-Fiの特徴】

1. 【SSID】の統一化 … 《michinoeki_free-wifi》 / 《michinoeki_free-wifi_secure》
※オープン接続は利用規約の同意のみでメアドなどの登録は行わない
2. リダイレクト画面の標準化 … 道の駅専用のリダイレクト画面にて「道の駅 Wi-Fi」の
ブランディングを行っています。 ※専用のロゴマークなどを使用
3. 「道の駅」の情報発信 … ① 国土交通省中部地方整備局指定のコンテンツ
(周辺道路情報・災害情報ポータル)
② 中部ブロック「道の駅」連絡会指定のコンテンツ
(道の駅連絡会HP)
③ 各道の駅毎の指定情報コンテンツ
(道の駅公式HP・地域観光情報 等)
※①②は全「道の駅」共通。③「道の駅」毎に変更(カスタマイズ)
※表示するリダイレクト画面は4カ国語対応

【道の駅におけるWi-Fiの活用】

「道の駅」が目指す、①休憩機能、②情報発信機能、③地域との連携機能 + 防災時の活用
に準じたWi-Fiサービスとして提供を実施。平時は、道の駅を利用する観光客(外国人観光客
含む)や地域の方にWi-Fi環境の提供・情報発信を行いながら、災害時にも非常通信インフラ
の一つとして想定し活用しています。同時に設置自動販売機は全て自己発電機能を搭載した
災害対応自動販売機を設置し、震災時には中身飲料水を無償提供する仕様です。

【参考データ】

2014年9月27日に発生した御嶽山噴火に伴い、御嶽山のふもとにある「道の駅」三岳では、
9月27日～28日の2日間でWi-Fiの利用者数が平時の平均数の約2倍になっている。2日間の
使用データ量も約2.3倍となった。

【Wi-Fi整備に於ける自動販売機の強み・今後の展開】

【強み】

- ①全国各地域に根付いた自販機オペレーターとの連携により、さまざまな施設にWi-Fiを利用した営業展開をすることができる。特に民間施設への設置事例が多い。
- ②全国に支社・支店を持つアサヒ飲料並びに地域自販機オペレーターの営業協力により、幅広い営業活動が可能である。特にアサヒ飲料とは2011年の提携以降、3年間に渡るWi-Fiについての勉強会を全国で実施し営業体制の構築を行った。
- ③自動販売機との組み合わせにより、電源確保の問題や利用者がWi-Fiを使いやすい場所へ簡易に敷設できること。
- ④自動販売機モデルの場合、設置契約期間(平均5年)を生かしたWi-Fiサービスの提供を行う為、継続性の高いサービスとして提供することが可能。設置施設はその間コストが発生せず長期間の安定したサービスとして利用者へ提供できる。

【今後の展開】

- 年間500～1000(AP)を新規に設置し、拡大をはかります。
- アサヒ飲料(グループ含む)の各支社・支店を含めた営業ネットワークを活用した普及活動の実施。

ご清聴ありがとうございました

